

令和5年度 年度事業評価書

評価対象期間	令和5年4月～令和6年3月分
施設名	河原町中央公園
指定管理者名	株式会社 風土資産研究会
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課名	都市整備部河川公園課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	聞取り	業務マニュアル作成
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類・聞取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	聞取り	社内での研修を実施
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか				該当なし
6 減免対象者は、適切に減免しているか				減免なし
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	聞取り	除草作業を地域の方へ依頼し実施
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	書類・聞取り	河原城内にアンケート用紙を設置
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞取り	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	聞取り	
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	聞取り	日常巡視にて適時対応
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	聞取り	適時対応
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞取り	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞取り	
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	聞取り	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	聞取り	トイレの電灯をタイマー設定し、利用者のいない時間は消灯
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	聞取り	
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	書類・聞取り	
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	書類・聞取り	
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書類・聞取り	
確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
V. 施設運営に関する情報の公開				
22 HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞取り	
23 指定業務に係る文書の保存が適切に行われ、情報公開請求等に対応できるか	3	3	聞取り	
24 市への報告体制が確立されているか	3	3	聞取り	
VI. リスク管理の状況				
25 基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か	3	3	聞取り	
26 緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書類・聞取り	緊急時体制を事務所内に掲示

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

<p>指定管理者</p>	<p>今年度(令和5年度)は5月に新型コロナウイルスが感染症法上2類から5類に引き下げになり、感染対策も大きく変わり世の中のコロナに対する警戒意識も薄らぎ、交流人口も拡大することが期待される中、やはり迂回路が人の流れを止め利用者数の完全回復にはほど遠い年だった。コロナ前年比の63%減、迂回路前対比では52%減、前年度比では8%減と、コロナ以上の影響が見て取れる。令和6年2月に約3年ぶりに谷一木の侵入道路が全面開通した後は梅の季節とも重なり急激に利用者数が増加した。2月は前年同月比の300%増、3月は前年同月比の150%増と、年間では減少だったが年度末に巻き返した。公園利用者と並行して河原城の入館料・販売売上げ・自主事業利益も減少し、厳しい経済状態だったが、中央公園の管理運営に関しては、引き続きの節約などで黒字決算だった。内容を見ると、物価高騰で光熱費やし尿液み取り料などは上がったが、備品・消耗品や燃料費などの経費を抑えやすかったが黒字収支になった。河原城・中央公園だけで見ると、減収の割には経費を押さえ黒字にはなっているので収支は安定し妥当と言えるが、自己資本比率にコロナの後遺症が色濃く残り、企業全体としては厳しい経営状況は続くものと予想されるので、次年度で利用者拡大・増収に向け一層の営業努力を何とか正常値に戻したいと思う。</p>
<p>施設所管課</p>	<p>自己資本比率が低い状況が続いているため、安定した経営を期待する。</p>

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

<p>指定管理者 (中央公園)</p>	<p>◆河原町中央公園及び河原地域の魅力を情報発信できる企画の実施。 ◆今年度は5月に新型コロナウイルスが5類に引き下げになり利用者増加の期待をしたが、年度末の谷一木侵入道路開通までは厳しい状況が続いた。また、公園の実施も引き続きの人手不足と経費不足で、樹木のメンテナンス等が思うように進まず、梅林公園内で体験観光やゲームイベントにも支障が出た。少ないイベント開催だったが、引き続き感染対策も徹底しながら開催した。 ◆次年度へ向けての新企画(ジオ事業・体験観光・特産品・観光商品開発等)の準備を河原町内外と連携。以下は中央公園関連の主な自主イベントの状況。</p> <p>◆イベント ◆かわはら町・春フェスin河原城(旧・日本赤十字社チャリティーイベント春の茶会・27回目)3年ぶりの開催。継続していく上でのいろいろな方向性を模索しながら多角的な要素を持たせるために催事名を変え、茶会だけに拘らず期間も長く取って、開催当初の目的「地域住民の為に催事」を中心に、チャリティーイベント「茶会」も継続しつつ、全国各地の自然災害の被災地域への復興支援金と、防災意識を高める啓発活動をイベントプログラムに加えます。また、集客を図るために「インスタ映えスポット」の提供や、スマホ時代を考えた「AR・VRの町内観光ポイントラリー」など幅広い年齢層が参加でき、町内外をはじめ観光客の皆様にも河原町及び河原城への来訪機会を創出でき、河原町の春イベントの顔として定着するような催事となることを目標にしています。</p> <p>◆かわはら七夕まつり(15年目)河原城及び中央公園の来訪機会拡大の為に毎年開催。開催期間7～8月(お盆まで)町内の幼稚園、3小学校・福祉施設の協力で開催。</p> <p>◆体験観光・中央公園内の梅林公園を活用した唯一の「梅の収穫とカリカリ梅つくり」だが、梅のメンテナンスが行き届かず、発育不良のため中止した。</p> <p>◆商品開発については、先での梅の実を活用した商品を作っていたが、発育不良のため加工にも支障が出た。次年度こそは体験も含め、加工商品も作れるように梅林公園の整備を是非実現させたい。所管課に支援して頂けるように相談したい。</p> <p>◆元旦初日の出行事(17年目)は、積雪など迂回路の危険性を考慮して中止にした。</p> <p>◆餅分・豆まき行事(13年目)3年ぶりに飲食を併せて開催。大勢の参加で賑わった。</p> <p>◆継続イベント：「かわはら町・春フェスin河原城」と秋の月見会(ブチ月見会)は、3年ぶりに開催したが、迂回路の影響で来場者が開始以来最低だった。</p> <p>◆その他・体験観光、トレーニング、ガイドウォーク、バスツアーなどは河原城・中央公園をコースに入れて4回実施できた。</p> <p>◆地域振興については、新型コロナの影響で5割程度の実施率だったが、美化・保全活動など地域の協働作業はほぼ例年並み。町内の催事運営協力はまちづくり協議会等や親工会等に協力し、特にあゆ祭り(第41回大会)は4年ぶりの開催だったので、内容の見直しや運営の在り方などを十分協議しながら、また後継者育成の観点からも大変重要な開催になった。例年通り、企画・制作・広報・印刷物デザイン・準備・運営・その他等に参加。(実行委員会参加15年目)。また、「子供あゆ太鼓」は祭り本番に向け、3小学校の総合の時間で指導。中学生1年生有志にも「若船太鼓」を指導をした。学校教育協力では、河原中学校1～3年生の総合学習時間で、郷土史・文化・くらし、自然などの外部講師として授業をした。また、毎年恒例の河原地域教職員夏季研修(河原中学で座学+リモート)で郷土史講習会の講師をした。周辺施設・行政・商工会等や民間団体との事業運営などの連携体制も、前年度より活発に活動ができた。特に山陰海岸ジオパーク南部地域エリア拡大の活動については、イベントの開催や「ふるさとリーダーアカデミー」との共催・各地域のガイド団体との連携など前年度同様にと、プラス自然災害に被災地域でのジオパーク開催などの応援イベントが好評で、地域の魅力の発見や魅力づくり、情報発信などが具体的な形として現れてきたので今後も活動の一環として各地で進めていきたい。</p> <p>新型コロナウイルスが第5類に引き下げとなり、これまで中止となっていたイベントを開催したことや、地域団体のイベントにも積極的に協力するなど、公園の利用者拡大及び地域の活性化に努めていた。今後も利用者拡大に向け、地域団体と連携をとりながら、様々なイベントの開催を期待する。</p>
-------------------------	--

4. 総括コメント

<p>指定管理者 (中央公園)</p>	<p>1. 利用者について…今年度は新型コロナウイルスが第5類に引き下げとなったが、迂回路の影響で河原城への来場者・公園利用者は前年度以上に伸び悩んだ。悪いイメージが定着してしまっただが、年度末に全面開通し一気に利用者が増加したので、そのままイメージアップを目指して集客が増加するようイベントや取り組み・広報などの一層の強化も必要だと感じる。また、アンケートなどの結果、散策・休憩などの憩いの場としての目的利用として、河原城来場者の中央公園利用(主に散策など)の割合は増加傾向なので、引き続き公園内の整備や接客の工夫等で来訪者増加の対策を進めたい。観光客以外の地域の利用(幼稚園・小・中・高校の遠足や課外授業等、公民館・福祉施設等の施設の利用など)は、若干減少している。その対策も講じたい。その他、公園を利用したイベントなどは感染防止対策を万全にし開催できた。今年度も年末から2月までの期間中に散策道や植栽が被害を受けた。また開通した谷一木側進入路沿いの樹木も3年間整備されていなかったため、被害木と併せて剪定・伐採・処分等に経費がかかったが、年度末から年度初めに跨ぎ2段階で整備する予定だ。今後の利用者の拡大を図るためにも中央公園の植栽の整備は不可欠であり、特に梅林公園・散策道の整備は前々から所管課に相談していたものなので、引き続き協議を重ねていきたいと思う。また、駐車場のトイレの身障者用設置の要望の音が大きいので(福祉施設の利用や海外観光客)、引き続き所管課に相談をしていきたいと思う。その他、利用者アンケートの公園に対する要望は前年度とほぼ同じで、設備等の設置や改修・公園内の植栽・侵入道路の整備・散策道の修繕・整備、ベンチ等の設置など。地域のコミュニティ・憩いの場として安全・安心・快適に利用していただけるように、引き続き感染防止対策に留意しながら維持・管理に努め、サービス向上を図って行きたい。</p> <p>2. 管理(除草作業等)について…今年9回(4月～10月まで)の実施。近年の集中豪雨や台風・大雪などの影響か、公園内の法面の崩落や樹木の被害が多く見られる。除草作業中の安全を考えて、補強について所管課に相談したい。草刈り以外の植栽整備は今年度も主に梅の枝打ち(剪定)などを危険区域外で実施。◆雑木の伐採は中央公園の景観(主に、雑木が茂り河原城が隠れて見えない)改善の為、H30年度に単年度で予算化され実施されたが、まだ3本残っている。伐採した木も5年間で大きくなり、他の雑木も成長が早いので定期的な伐採、または剪定をした。また、迂回路側の雑草や樹木の整備については、中央公園の敷地内において経費削減の為に河原城スタッフが除草作業・雑木の刈り上げ等の対応をしている。</p> <p>3. 散策道について…ここ数年予算がされて修繕して頂き、散歩コースになっている地元住民等からは好評の声が届いていた一方で、梅見客など観光客からは途中でしか修繕されていない散策道を歩くのは高齢者などには危険との声もある。来年度以降も予算化して頂き、利用者の安全・安心・快適な空間を確保したい。</p> <p>4. 梅林公園の景観の向上について…今年度も台風・集中豪雨・風害・雪害などの天候不順が多く、公園内の樹木の被害も多かった。公園内の大半の法面は足場の悪い場所が多く、被害木の伐採・撤去等は「河原町有志の会」と協力して河原城スタッフも行ったが限界があり、経費面はかかるが専門業者に依頼することが増えた。(危険場所の被害木数本はそのままだ状態。)一応の景観は保持しているが、専門家の手入を必要としている場所が多い。「河原町有志の会」の高齢化や人員不足を懸念すると、次年度以降の再委託費用の上乗せも考えている。また、計画していたイベント(梅の収穫とカリカリ梅作り体験)も発育不良で中止になった。樹木の整備が追いつかない事が大きな原因と考える。イベントと同時に実施しようとしていた商品づくりも昨年度・今年度と出来なかった。次年度からは本格的な樹木の整備をしていかないと、せっかくの「梅林公園」の価値が損なわれてしまうので、再生について本格的に相談・協議をお願いしたいと思ふ。</p> <p>5. その他…2月に谷一木側正面進入道路が全面開通し、来場者・地域住民から喜びの声が多く届き来場者も増加し本当に良かった。利用者の利便性や安全性の確保と地域への配慮が大変だったので、次年度への期待が高まっている。年間を通して様々な来場者(観光客・中央公園利用者・散策道から進入する徒歩利用者、その他)について、全面開通はしたが散策道の中には危険箇所もあるので、引き続き、定期巡回や注意喚起で利用者の利便性・安全性の確保に努めていきたい。</p> <p>まとめとして、今年度も複合的な影響で利用者の拡大は厳しい状況だったが、次年度意向も管理運営の一つ一つに誠実に取り組み、少しでも利用者拡大につながる為に出来る限りの対策を考え、地域のコミュニティ・憩いの場として安全・安心・快適に利用していただけるように維持・管理に努め、河原町中央公園及び河原地域の魅力を度々アップに貢献し、広くPRしていきたい。</p>
-------------------------	---

施設所管課	除草作業など施設の維持管理について、経費の削減などにも努めながら、適切に行われていた。今後も引き続き適切な維持管理に期待する。また、新型コロナウイルスの第5類への引き下げや、谷一木侵入道路の開通などで、これまで減少していた利用者数の回復が見込まれるため、引き続き、イベントの開催など公園の利用者拡大に向けた、自主事業の実施に期待する。
-------	---

※記入について

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている
確認方法 (施設所管課のみ)	書類確認、聞き取り、現地(館内)確認、実態確認等	
備考	評価区分が3以外である理由、指定管理者と施設所管課で評価区分が異なる理由、その他の特記事項	

【資料2】

1. 施設利用者数

(単位:人)

項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
公園利用者	14,800	6,461	7,500	6,510	7,500	6,014	
合計	14,800	6,461	7,500	6,510	7,500	6,014	

2. 事業収支

(単位:円)

項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
指定管理料(公園)	2,852,000	2,852,000	2,852,000	2,917,265	2,852,000	2,881,000	
収入計(A)	2,852,000	2,852,000	2,852,000	2,917,265	2,852,000	2,881,000	
支出計(B)	2,852,000	2,852,362	2,852,000	2,560,038	2,852,000	2,854,741	
事業収支A-B	0	-362	0	357,227	0	26,259	